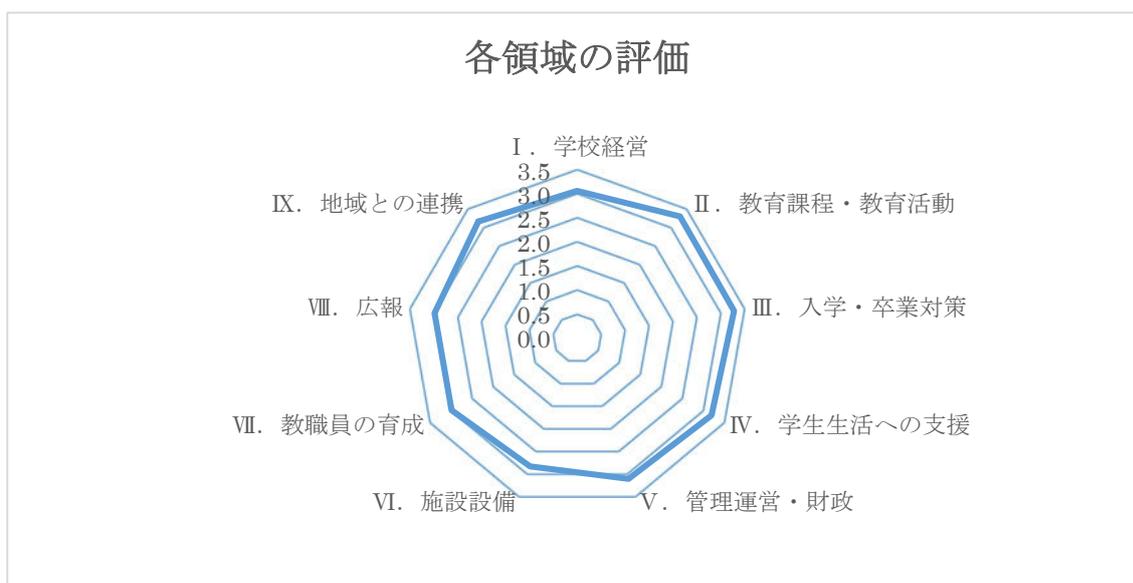


令和6年度 学校運営評価

新潟看護医療専門学校は、教育の質の向上を図り、学校の設置目的を達成するために、教育活動全般について自己評価を行い、改善を行うための学校運営評価を行っています。

学校運営評価は、9領域44項目からなり、「4 良い」「3 適切」「2 やや不十分」「1 不十分」の4段階評価を行っています。

領域	主な内容	項目数
I. 学校経営	学校の組織運営、組織目標について	6
II. 教育課程・教育活動	教育目標、教育内容、授業や実習について、評価について、学生による授業評価の活用等	15
III. 入学・卒業対策	入学希望者への対応、国家試験対策、卒業生への支援	4
IV. 学生生活への支援	就職や進学への支援、経済的支援、健康管理	5
V. 管理運営・財政	個人情報管理、災害への備え等	3
VI. 施設設備	学校の建物、設備、バリアフリーへの配慮	3
VII. 教職員の育成	研修の実施、学会派遣、教員相互の授業参観等	4
VIII. 広報	広報	2
IX. 地域との連携	地域との連携	2



令和6年度においては、「II.教育課程・教育活動」の項目が改善した。看護学科の新カリキュラム移行後3年目となり、各教職員が教育内容についての目標や課題を共有できていることが要因と考えられる。また例年低評価となっている「VII.教職員の育成」についても改善されてきている。出張願や報告書についての様式を変更したことで書類作成の負担が軽減され、また各教職員が研修内容の確認ができるようになったことが要因として考えられる。他方、「VI.施設設備」の項目においては昨年に引き続き低下した。経年劣化に伴う空調設備等の故障が相次ぎ、対応が追い付いていないことが要因として考えられる。また「VIII.広報」の項目についても低下した。ホームページの更新頻度の低下していることや、オープンキャンパス参加者が減少傾向にあることが要因と考えられる。

改善がみられた項目がある一方、昨年度と比べ評価が低下した項目も目立つ。教育を提供する上で、施設の整備は最優先である。今後も支出と収入のバランスを考慮した施策を検討し、適切な学校運営に取り組めるよう邁進していく。